



コモンズ企画 異文化を通じた他学部交流の イベントにおける 民族資料の活用について

平井 芽阿里 (全学総合教育科講師/コモンズコンシェルジュ)

その日、普段は話し声で賑わうスチューデント・コモンズに、多国籍な音色が響き渡っていました。さまざまな国の楽器を不思議そうに眺めながら、触れたり叩いたりと楽しそうに音を確認する学生たち。

7月23日、不言実行館2階のスチューデント・コモンズのステージエリアで、国際文化学科3年の沼田恵美さんが代表となって企画した「Sunnyside Plaza」が開催されました。

コモンズセンターには、コモンズ企画という、コモンズセンターを拠点とし学部学生の間人向上を目的に、学生が主体となって実施する企画があります。沼田さんは記念すべき初の応募者で、コモンズサポーターである小坂真生さん、藁科友理さん(いずれも国際文化学科3年)と協力しながら、立案、実行、運営にいたる全てを自ら執り行いました。

「Sunnyside Plaza」は、国際

関係学部だけでなく他学部の学生にも、異文化交流を通じた誰でもが参加しやすい新しい国際交流の形をコモンズセンターで作ることで、より多くの学生に異文化理解を深めてもらうことを目的に企画されました。企画書を何度も練り、形にまとめ、いざ実行するととなると、当初は計画に入れていた留学生が参加できず、どのように異文化交流を行うのか、という課題にぶつかりました。

何よりの強い味方となってくれたのが、民族資料博物館でした。民族資料博物館に相談に行くと、なんと民族衣装10着に民族楽器5点という、大変貴重な展示物を貸していただけることになったのです。企画を行う前日、不言実行館まで

慎重に搬入し、ひとつひとつ丁寧に展示すると、スチューデント・コモンズは見事に彩られました。

当日は、20人を超す学生が集まり、手作りのパネルで紹介された世界遺産をスタンプラリーで巡り、演奏会を行い、マサテコ族の民族衣装にも身を包みました。

異文化交流に欠かせない鮮やかな魅力を添えていただけたおかげで、企画は大成功に終わりました。担当コンシェルジュからも心より御礼を申し上げます。

(平井)



スチューデント・コモンズ

2016

下半期(秋季冬季)行事案内

MUSEUM OF ETHNOLOGY ART CHUBU UNIVERSITY

◇展示

アフロ・ユーラシア 内陸乾燥地文明展 黒アフリカ・イスラーム文明から考える

(アフロ・ユーラシア 内陸乾燥地文明研究会代表 嶋田義仁 中部大学客員教授による)

会期：平成28年12月5日(月)～平成29年3月8日(水)

場所：中部大学民族資料博物館

◇成果発表展示

「平成28年度 特別講座受講生作品発表展示」

会期：平成29年3月22日(水)～4月6日(木)

場所：中部大学民族資料博物館